

課題名 設計協議会に参加する 2

指導教員 門馬 進

### 研究の目的

この学校に入学する前から設計競技会に興味があり、今まで習ってきた製図・設計・デザインの技術と高校三年間の集大成として一つの作品を作成し、全く面識のない方々に審査してもらうことで現在の自分の力量をはかりたいと思った。

この課題は、住む人間の内側の表現やデザイン・レイアウト等、多面的な技術を必要とするので、卒業課題には最適だと思えたので選択しました。

### 作成条件

締め切り：2011年10月11日

提出図面：配置図・平面図・断面図等、表現方法は自由。

用紙：A2（420mm×594mm）の中判ケント紙あるいはそれに類する用紙一枚にまとめる。

### コンセプト

この家は、彼ら自身が常に組み替え作り出していくというものである。彼らが互いに影響しあい、それぞれの「個性」を引き出し、ふたりが生み出す「作品」自体になりうる家を目指した。画家は写真家が外から撮影してきた写真のみから外界を想像し、作品を生み出す。写真家は何者にも汚されていない画家の絵に心理的な影響を受けて、また外へと旅立っていく。彼らは自身・互いの作品を壁に貼り、その壁で自分たちの家を作り出す。意見が合えば、絵画・写真個展のようにレイアウトされた空間ができあがり、折り合いがつかなければまるで迷路のように入り組んでいく。

### 設計した建築物について

アーティスト：引き籠もりの画家 自由奔放な写真家

イメージ：工場跡地

縦・横約 30m 高さ約 10m の巨大な空間の中に、多数の取り外し可能な壁を設置する。その壁には直接絵が描け、写真が貼れる。天井には荷を運ぶための籠付きクレーンが設置されていて、天井から全体図を見ることが出来る。寝室やバスルームは、迷路の中でたどり着く地下室に配置する予定。画家のアトリエは一度地下室を通らないと入れない。

### 参考ホームページ

2011年 日進工業株式会社コンペディションホームページ

<http://www.nisshinkogyo.co.jp/compe/index.html>

この会社の競技会に出品された過去の作品を見ることができます。

